

### 1. 発達保障のための子ども理解の方法

私たちは、子どもの内面世界を少しでも理解したいと願っています。本講義では、教育・保育現場において、子ども理解を深めていくのに大切にしたい視点について考えます。（下巻Ⅰ）



木下孝司さん（神戸大学）  
きのした たかし

### 2. 自閉スペクトラム症と発達診断

自閉スペクトラム症児者の問題行動は、ユニークな機能連関による、本人の苦しさや他者からの共感のされにくさに拠っていることがあります。その支援を含めて考えます。（上巻Ⅳ-1章）



別府 哲さん（岐阜大学）  
べつふ さとし

### 3. ライフサイクルと発達診断

人は誰もが自分のライフサイクルを歩んでいきます。本講義では、発達段階とライフステージ（人生の段階）の関係、生活年齢や生活経験の蓄積がもつ意味を考えます。（上巻Ⅴ-3章）



白石 恵理子さん（滋賀大学）  
しらいし えりこ

## 教育と保育のための

# 発達診断セミナー

2024年12月1日（日）

13:00~16:40

オンライン ライブ（見逃配信あり）

NPO 法人

発達保障研究センター・全国障害者問題研究会 共催

【よびかけ】

発達への願いと明日の実践とを結ぶ  
『新版 教育と保育のための発達診断』

テキスト編者

白石正久（龍谷大学名誉教授）・白石恵理子（滋賀大学教授）

「発達診断」とは、子どもや障害のある人びとの発達への願いや悩みを、発達理論に拠りながら解き明かしていくことです。今回は、「発達診断」などの子ども理解に求められること、自閉スペクトラム症がある場合の「発達診断」の視点、ライフサイクルや生活年齢と発達との関係を取りあげます。発達をとらえることが、子どもや障害のある人をどう応援することになるのか、皆さんと考えたいと思います。

保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援などで働くみなさん。発達のつまずきはあっても、遊びや生活のなかで楽しさを覚え、友だちといっしょにいろいろなことに挑戦し、豊かに発達してほしいと願っていることでしょう。

小中学校、特別支援学校、放課後等デイサービス、放課後児童クラブなどの学齢期の教育・支援で働くみなさん。子どもの本当の願いが見えなかったり、何を大切にして実践したらよいかつかめなくて苦しいときもあるでしょう。

青年・成人期の地域生活や就労支援で働くみなさん。この労働や活動が障害のある人びとの喜びになっているのか、彼らはどんな生活や人生を求めているのかを深く問いたいときもあるでしょう。

その願いや問いを大切にして日々の実践を創造するために、このテキストを作りました。仲間を誘って、本セミナーにご参加ください。学んだことを、職場や地域サークルなどで、いっしょに話しあってください。今、みなさんがつかんでいること、大事にしようと思っていることの中に、答えにつながる何か潜んでいるのだと思います。本セミナーが、それを見つけて出す手がかりになることを願ってやみません。

